

1. 次の文の（ ）に入ることばはどれですか。

(1)にある(2)は平清盛が(3)として神宮を訪れた際、(4)が枝に触れたために枝を切らせたという伝承がありますが、実は(5)であったという説もあります。

(1) (イ) 内宮 (ロ) 外宮 (ハ) 豊宮崎文庫 (ニ) 慶光院

(2) (イ) お屋根桜 (ロ) 宿り木桜
(ハ) ナンジャモンジャの木 (ニ) 楠

(3) (イ) 祭主 (ロ) 勅使 (ハ) 大宮司 (ニ) 斎王

(4) (イ) 冠 (ロ) 太刀 (ハ) 馬の手綱 (ニ) 兜

(5) (イ) 平忠盛 (ロ) 平重盛 (ハ) 源義経 (ニ) 源頼朝

2. 次の文を読んで続く問いに答えよ。

神社を象徴する植物の代表的なのが榊です。榊は常緑樹の一種で生命力が強く、語源は境の木、堺の木、または栄の木とも言われます。榊は神事に用いられるほか、社殿や祭場の装飾にも用いられます。

(6) 神宮の鳥居や御門につけられる御榊には白い紙が付けられていますが、それを何と言いますか。

(イ) 白幣 (ロ) 四手 (ハ) 木綿 (ニ) 奉書紙

(7) 人長舞で舞方が手にしている榊にはどのような形の飾りがついていますか。

(イ) 丸 (ロ) 四角 (ハ) 三角 (ニ) 星形

3. 次の文を読み、()に入る適語を各語群より選び、記号で答えなさい。

天照大神は、(8)の御代までは、宮中で天皇のおそばでまつられていましたが、(9)の御代に、(10)によって伊勢国にお遷ししたのが皇大神宮のはじまりと伝えられています。

それからおよそ(11)年後の(12)の御代、天照大神の(13)として豊受大神が(14)より山田原に迎えられたのが外宮のはじまりと伝えられています。

(8) (イ) 神武天皇 (ロ) 崇神天皇 (ハ) 天武天皇 (ニ) 桓武天皇

(9) (イ) 垂仁天皇 (ロ) 景行天皇 (ハ) 仁徳天皇 (ニ) 応神天皇

(10) (イ) 倭健命 (ロ) 豊鍬入姫命 (ハ) 伊勢津彦 (ニ) 倭姫命

(11) (イ) 200 (ロ) 300 (ハ) 500 (ニ) 600

(12) (イ) 景行天皇 (ロ) 雄略天皇 (ハ) 武烈天皇 (ニ) 継体天皇

(13) (イ) 御饌都神 (ロ) 御伴神 (ハ) 合殿神 (ニ) 相殿神

(14) (イ) 吉備国 (ロ) 近江国 (ハ) 丹波国 (ニ) 出雲国

4. 次の文の（ ）に入ることばはどれですか。

伊勢のような観光地では、根も葉もない噂がたつこともある。例えば、(15)に並び立つ(16)には、(17)が刻まれていると噂されるが、これらは(18)のご成婚をお祝いして立てられたもので、歴史的にそれほど古い物ではなく、(19)の根拠になるものではない。

- (15) (イ) 御幸道路 (ロ) 御木本道路 (ハ) 伊勢道路 (ニ) 参宮街道
- (16) (イ) 石鳥居 (ロ) 石灯籠 (ハ) 石仏 (ニ) 道しるべ
- (17) (イ) 大日如来 (ロ) 梵字 (ハ) 急々如律令 (ニ) ダビデの紋章
- (18) (イ) 明治天皇 (ロ) 大正天皇 (ハ) 昭和天皇 (ニ) 今上天皇
- (19) (イ) 神仏混淆 (ロ) 日ユ同祖論
(ハ) 騎馬民族征服説 (ニ) 邪馬台国大和説

5. 次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

- (20) せんぐう館に展示してあるのはどれですか。
(イ) 皇大神宮正殿の正面原寸模型 (ロ) 豊受大神宮正殿の正面原寸模型
(ハ) 皇大神宮正殿の側面原寸模型 (ニ) 豊受大神宮正殿の側面原寸模型
- (21) 神宮の祭典で、神職が行う独特の拝礼作法を何と呼びますか。
(イ) 四方拝 (ロ) 二拝四拍手 (ハ) 四拝八拝 (ニ) 八度拝
- (22) 外宮鎮座以来、毎日欠かさず行われているお祭りはどれですか。
(イ) 日別朝夕大御饗祭 (ロ) 月次祭
(ハ) 天長祭 (ニ) 神楽祭
- (23) 式年遷宮のたびに調製される御装束神宝の種類はおおよそどれだけですか。
(イ) 500 種 (ロ) 600 種 (ハ) 700 種 (ニ) 800 種
- (24) 戦国時代に一時中断した式年遷宮の復興のひとつのきっかけとなった宇治橋の架け替えを、最初に勧進（寄付）で成し遂げたのは誰ですか。
(イ) 淀君 (ロ) 上部越中 (ハ) 重源 (ニ) 守悦

- (25) 興玉神はどこにまつられていますか。
- (イ) 外宮の九丈殿付近 (ロ) 内宮の御垣内西北隅
(ハ) 月夜見宮の境内 (ニ) 五十鈴川御手洗場の付近
- (26) 式年遷宮ごとに新調される神宝に存在しないのはどれですか。
- (イ) 船具 (ロ) 紡績具 (ハ) 楽器 (ニ) 馬具
- (27) 平成25年に予定されている遷宮諸祭で白杖で大宮地をつき固めるお祭りはどれですか。
- (イ) 杵築祭 (ロ) 御戸祭 (ハ) 後鎮祭 (ニ) 洗清
- (28) 遷御の前後には数々の祭典が行われますが、行われる順番が正しいのはどれですか。
- (イ) 遷御・奉幣・御神楽・川原大祓
(ロ) 御装束神宝読合・奉幣・遷御・大御饗
(ハ) 御飾・遷御・大御饗・奉幣
(ニ) 御飾・川原大祓・御装束神宝読合・遷御
- (29) 一社奉幣とは何をさすことばですか。
- (イ) 一年に一度朝廷が全国から一社を選び奉幣すること
(ロ) 20年に一度遷宮に際して幕府が幣帛を奉ること
(ハ) 式年遷宮に際して天皇が神宮に奉幣すること
(ニ) 式年遷宮に際して別宮の中から一社を選んで奉幣すること
- (30) 三種の神器に関する組み合わせで正しいのはどれですか。
- (イ) 剣・熱田神宮 勾玉・皇居 鏡・伊勢神宮
(ロ) 剣・熱田神宮 勾玉・外宮 鏡・内宮
(ハ) 剣・気比神宮 勾玉・籠神社 鏡・伊勢神宮
(ニ) 剣・熱田神宮 鏡・伊勢神宮 弓・皇居
- (31) 神宮の正殿の特徴で、正しいのはどれですか。
- (イ) 内宮は高床式で掘立て柱、屋根には鰹木と千木が10本のせられている。
(ロ) 外宮は高床式で、礎石の上に直接柱をのせ、屋根には鰹木が9本のせられている。
(ハ) 内宮と外宮とでは棟持柱の数が異なり、外宮は内宮より1本少なくなっている。
(ニ) 屋根には鰹木がのせられ、棟持柱は左右に2本あり、周囲に高欄が巡らされている。

- (32) 天照皇大神の神号軸で市販されている軸には無いのは何ですか。
(イ) 書いた祢宜の氏名 (ロ) 雲形模様の印
(ハ) 「天照」の二文字 (ニ) 皇大神宮神璽
- (33) 式年遷宮後、宇治橋の内（東詰め）の鳥居は何になりますか。
(イ) 桑名の七里の渡しの鳥居 (ロ) 関の追分の鳥居
(ハ) 月読宮の鳥居 (ニ) 中重の鳥居
- (34) 平安時代から鎌倉時代に現れ、神宮の信仰を全国に広めたのはどのような人達でしたか。
(イ) 勧進聖 (ロ) 慶光院上人 (ハ) 御師 (ニ) 伊勢大神楽
- (35) 大土御祖神を祭神とする別宮はどれですか。
(イ) 瀧原並宮 (ロ) 月読荒御魂宮 (ハ) 多賀宮 (ニ) 土宮
- (36) 勅使が参向しない祭典は次のどれですか。
(イ) 天長祭 (ロ) 新嘗祭 (ハ) 神嘗祭 (ニ) 祈年祭
- (37) 神嘗祭の時にカケチカラがかけられるのはどこですか。
(イ) 板垣 (ロ) 瑞垣 (ハ) 蕃垣 (ニ) 内玉垣
- (38) 三節祭とはどの祭典をいいますか。
(イ) 歳旦祭・元始祭・月次祭
(ロ) 神嘗祭・6月の月次祭・12月の月次祭
(ハ) 祈年祭・神嘗祭・新嘗祭
(ニ) 神嘗祭・新嘗祭・大嘗祭
- (39) 「うまし国」を現代風にいうとどうなりますか。
(イ) 産ます国で人口が多い国
(ロ) 馬がたくさんいる生産力が高い国
(ハ) 麗しく好い国
(ニ) あらゆるものが揃った都となるべき国
- (40) 神宮徴古館を創設した団体は次のどれですか。
(イ) 大日本産業振興協会 (ロ) 貴族会館
(ハ) 財団法人神苑会 (ニ) 神都産業振興会

- (41) かつて二見で調製された御塩を外宮まで運んだ道は何と呼ばれていましたか。
(イ) 御塩道 (ロ) 二見街道 (ハ) 外宮街道 (ニ) 御饌道
- (42) 内宮の五丈殿で東遊が奉納される日はいつですか。
(イ) 1月3日 (ロ) 1月11日 (ハ) 10月17日 (ニ) 12月25日
- (43) 神宮で神饌や奉仕員の祓いに用いられるのはどれですか。
(イ) 注連縄と御塩 (ロ) きよめの砂と真水
(ハ) 大麻と幣帛 (ニ) 大麻と御塩
- (44) 式年遷宮の用材を採る山を何と呼びますか。
(イ) 御用山 (ロ) 御木山 (ハ) 御杣山 (ニ) 神木山
- (45) 日別朝夕大御饌祭でお供えされないものはどれですか。
(イ) 餅 (ロ) 塩 (ハ) 水 (ニ) 鰹節
- (46) 古代、天照大神はどのような状況で天皇によってまつられていましたか。
(イ) 同床共殿 (ロ) 神人分離 (ハ) 神仏習合 (ニ) 天壤無窮
- (47) 御手洗場と書いてどう読みますか。
(イ) おちょうずば (ロ) みたらし (ハ) みてあらい (ニ) おてらい
- (48) 御木曳の前日に、御木曳車を出発点まで運ぶことを何といいますか。
(イ) 上せ車 (ロ) 帰り車 (ハ) 前曳き (ニ) 上り車
- (49) 神宮の神馬が参拝する神馬牽参は、いつ行われますか。
(イ) 神嘗祭の当日 (ロ) 毎月1日・11日・21日
(ハ) 毎月1日と15日 (ニ) 毎日朝夕の2回
- (50) 式年遷宮の「式年」とはどういう意味ですか。
(イ) 儀式帳に定められた年
(ロ) 定められた年
(ハ) 延喜式で定められた年
(ニ) 二十年を弐拾と書いたなごりで弐が式となった